

今やるべき！

【令和6年産対策】

育苗床の片付けと早期耕うん

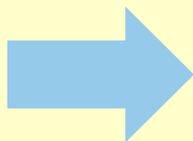
サツマイモ基腐病菌は、育苗床や収穫後の残さで越冬し、翌年の発生源になります。

育苗や収穫が終わったら、そのまま放置せず、速やかに残さを処分しましょう。

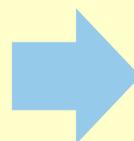
1 育苗が終わったら・・・



残さをハウスの外へ持ち出す



地温の高い夏場に**複数回**耕うんして分解促進



バスアミド微粒剤等を土壌混和した後、ビニールで**全面被覆**

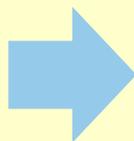


バスアミド微粒剤の使用ポイント **重要!**

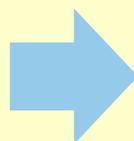
- ①土を握りしめて、放したら数個に割れる程度の土壌水分を確保
- ②地温が20℃の場合、10～14日間ビニールで**全面被覆**
(地温15℃以上が必要)

【バスアミド微粒剤の使用ポイント】

2 収穫が終わったら・・・



残さを集めてほ場の外へ持ち出す



ロータリーで**複数回**耕うんして分解促進



早期耕うんのポイント **重要!**

- ①地温が20℃以上確保できる時期に**複数回**耕うん
- ②残さが十分に水分を含んでいる**収穫直後**に行う